

研究課題名	卵巣漿液性癌患者における好中球・リンパ球比とプラチナ製剤感受性、予後との関連
研究の意義・目的	卵巣漿液性癌患者における化学療法前の血液中の好中球（白血球の1種類で、体に侵入してきた細菌などを退治する細胞）数とリンパ球（白血球の1種類で免疫を担当する細胞）数の比とプラチナ製剤（抗がん剤の1種類）が効くかどうか、および治療成績との関連をカルテの情報をもとに検討し、関連の有無を明らかにすることを目的とします。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2022年3月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2005年1月～2012年12月に大阪市立大学医学部附属病院の婦人科で、卵巣漿液性癌の治療のため入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、検査データ、治療効果、予後】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院婦人科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院婦人科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 女性病態医学 研究責任者 角 俊幸
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 女性病態医学 （担当者氏名）福田 武史 電話番号：(06) 6645-3862 メールアドレス：takeshif@med.osaka-cu.ac.jp